

令和2年度

第3回定期監査
結果報告書

(令和3年1月執行分)

御殿場市監査委員

02御監第366号
令和3年2月19日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 榊原敏彦
御殿場市監査委員 芹沢修治

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和2年度第3回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和2年度第3回定期監査結果報告書

第1 監査の対象

企画部 秘書課、企画課、未来プロジェクト課、魅力発信課、情報政策課、演習場渉外課
産業スポーツ部 農政課、農林整備課、商工振興課

第2 監査の期間

令和2年12月22日から令和3年1月27日まで

第3 監査の範囲

令和2年4月1日から11月30日までの財務に関する事務事業の執行状況

第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。また、指導事項については、該当課に対して改善を求めた。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

企画部

1 監査の対象

秘書課、企画課、未来プロジェクト課、魅力発信課、情報政策課、演習場渉外課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項はなかった。

秘書課

当課は、課長以下 4人で、秘書スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・秘書事務（市長・副市長の秘書に関する事務等）
- ・栄典・表彰事務（叙位・叙勲、静岡県知事表彰等申請事業、市表彰関係事業等）

(2) 予算の執行状況

歳出予算執行状況は、次のとおりである。

歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
一 般 管 理 費	8,720,000	2,934,794	5,785,206	33.7

※人件費を除く

事業別の執行状況は、秘書事務経費（予算現額 4,208 千円、支出済額 824 千円、支出率 19.6％）、協議会等負担金（予算現額 1,644 千円、支出済額 1,638 千円、支出率 99.6％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、秘書事務経費の委託料 2,668 千円、栄典・表彰事務経費の報償費 709 千円である。

(3) 前渡資金出納状況

前渡資金の出納状況については、例月現金出納検査（一般・特別会計）の帳票検査に合わせて関係帳簿等の確認を実施しており、適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額
市 長 交 際 費	300,000	182,100	0	117,900
有 料 道 路 通 行 料 (E T C)	100,000	13,250	0	86,750
市長と語るミニ懇談会報償金	12,000	6,000	0	6,000

(4)意見・要望事項

- ア 市長交際費をホームページ上で公表しているが、他市では住民監査請求の事例があるため、今後も適正な支出を望む。現金の取扱いにも引き続き留意されたい。
- イ 市長車等の運行管理について、近隣の公務については課内で対応することで委託料の削減を図ったとのことで評価に値する。
- ウ 2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、オリンピック関連のイベントや新東名高速道路等の要望活動など、市長と副市長の公務が多くなっているとのことであった。可能であれば部長等に割り振ると共に、随行職員についても健康管理にも留意されたい。

企画課

当課は、課長以下 5 人で、企画調整スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市の将来構想や主要施策、重点事業計画を協議する庁議及び調整会議に係る事務
- ・御殿場市総合計画に係る事務
- ・広域連携に関する事務（富士山ネットワーク会議、2市1町行政懇談会、等）

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
国 庫 支 出 金	574,116,000	147,978,000	147,978,000	0	25.8	100.0
県 支 出 金	208,000	136,603	58,603	78,000	28.2	42.9
財 産 収 入	400,000	400,000	400,000	0	100.0	100.0
諸 収 入	0	1	1	0	-	100.0

収入済額は、国庫支出金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）147,978 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	2,059,000	1,277,822	781,178	62.1

※人件費を除く

事業別の執行状況は、市制施行65周年記念事業（予算現額 600 千円、支出済額 124 千円、支出率 20.7%）、協議会等負担金（予算現額 996 千円、支出済額 968 千円、支出率 97.2%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、市制施行65周年記念事業の負担金補助及び交付金－交付金 476 千円である。

(3)意見・要望事項

ア 第四次御殿場市総合計画後期基本計画の策定について、自前で策定を行ったことについては大変な事務量であったと思うが評価に値する。

今後も財政部局と連携を図りながら、限られた財源の中で、効果的な事業の実施・安定的な行政運営に取り組まれない。

イ 人口減少の回避のためにも、市内への移住定住及び市外への転出について、関係課と連携・情報交換を進めてほしい。

ウ 新型コロナウイルス感染症によるリモートワークの普及等、社会環境の変化が予想される。ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、ニューノーマル時代に対応した新たな可能性への取り組みを検討されたい。

未来プロジェクト課

当課は、課長以下 4 人で、プロジェクト推進スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・地域公共交通に関する事務(御殿場線利活用推進協議会、バス交通活性化対策事業、等)
- ・SDGs推進事業
- ・エコガーデンシティ推進事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
寄 附 金	3,000,000	1,000,000	1,000,000	0	33.3	100.0
繰 入 金	7,000,000	0	0	0	-	-

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
企 画 費	54,309,000	4,670,703	49,638,297	8.6

※人件費を除く

事業別の執行状況は、地域公共交通対策事業(予算現額 43,822 千円、支出済額 2,581 千円、支出率 5.9%)、SDGs推進事業(予算現額 6,217 千円、支出済額 1,124 千円、支出率 18.1%)、エコガーデンシティ推進事業(予算現額 4,004 千円、支出済額 900 千円、支出率 22.5%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域公共交通対策事業の負担金補助及び交付金一補助金 37,511 千円、SDGs推進事業の委託料 4,716 千円、エコガーデンシティ推進事業の委託料 2,500 千円である。

(3) 意見・要望事項

- ア 各種協定を締結されているが、締結することによりもたらされるメリット等のPRをされたい。

イ 御殿場線利活用推進協議会の要望活動について、成果が見えない活動になるかと思うが、引き続き取り組まれない。

魅力発信課

当課は、課長以下 8 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、広報・情報発信スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・広報活動事業（広報ごてんば発行事業、同報無線広報事業、市政カレンダー発行事業、等）
- ・ホームページ事業（市ホームページ・フェイスブック・インスタグラムの保守・管理委託、等）
- ・情報発信事業（コミュニティFM活用事業、シティプロモーション推進事業）
- ・ふるさと納税推進事業
- ・報道機関対応

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
寄 附 金	600,000,000	334,681,159	426,530,659	0	71.1	127.4
繰 入 金	300,000,000	0	0	0	0.0	0.0
諸 収 入	5,265,000	3,550,000	3,475,000	0	66.0	97.9

収入済額の主なものは、ふるさと納税寄附金 426,531 千円、広報紙等広告掲載料 3,475 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
広 報 広 聴 費	638,227,000	177,684,817	460,542,183	27.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、広報活動事業(予算現額 22,730 千円、支出済額 9,548 千円、支出率 42.0%)、情報発信事業(予算現額 9,223 千円、支出済額 5,051 千円、支出率 54.8%)、ふるさと納税推進事業(予算現額 600,000 千円、支出済額 159,651 千円、支出率 26.6%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、広報活動事業の需用費-印刷製本費 12,626 千円、ふるさと納税推進事業の報償費 231,144 千円、役務費-通信運搬費 79,081 千円、役務費-手数料 126,286 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(4) 意見・要望事項

- ア 情報発信は成果がすぐには目に見えず費用対効果が計りかねるが、市民には生活の情報を、市外の人には御殿場の魅力を発信することは重要である。移住定住促進にもつながることから、引き続き、多様なチャンネル・ツールを使い、効率的な情報発信に努められたい。
- イ シティプロモーション推進事業について、人口減少の回避のためにも、関係課と連携し移住定住促進に係る情報発信に取り組まれたい。
- ウ ふるさと納税寄附額については、昨年度比で約2倍になったとのこと。他市町との競争になりつつある部分はあるが、制度の範囲内で引き続き取り組まれたい。

情報政策課

当課は、課長以下 13 人(うち会計年度任用職員 6 人)で、情報政策・統計スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・各種統計調査に係る事務
- ・情報化機器の運用管理・最適化に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	9,614,000	3,665,887	3,665,887	0	38.1	100.0
国庫支出金	3,267,000	3,267,000	0	3,267,000	-	-
県支出金	43,109,000	30,463,189	30,463,189	0	70.7	100.0

収入済額の主なものは、各種統計調査委託金(国勢調査) 30,442 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
情報政策費	250,567,000	139,425,207	111,141,793	55.6
統計調査総務費	900,000	855,000	45,000	95.0
基幹統計費	341,000	78,136	262,864	22.9
国勢調査費	12,174,000	5,962,801	6,211,199	49.0

※人件費を除く

事業別の執行状況は、情報化機器維持管理費(予算現額 150,672 千円、支出済額 87,724 千円、支出率 58.2%)、情報化推進事業(予算現額 97,871 千円、支出済額 51,042 千円、支出率 52.2%)、国勢調査費-事務諸経費(予算現額 12,174 千円、支出済額 5,963 千円、支出率 49.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、情報化機器維持管理費の使用料及び賃借料-その他 52,826 千円、負担金補助及び交付金-交付金 4,728 千円、情報化推進事業の使用料及び賃借料-その他 42,181 千円で

ある。

(3)意見・要望事項

ア ICTを生かした庁内業務改善について、福祉部門で成果を発揮したとのことであった。引き続き、AIやRPA(ロボットプロセスオートメーション)等の検討をし、事務のミスの未然化・省力化に取り組ま
れたい。

情報化機器・システムの導入を入札で行っているとのことだが、内容に応じて、適宜プロポーザル
の導入も検討されたい。

演習場涉外課

当課は、課長以下 2人で、涉外スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・演習場使用協定に関する事務
- ・演習場に関する総合対策連絡調整及び障害に関する事務（林野特産物補償研究会、水利関係、等）
- ・東富士演習場地域協議会に関する事務及び会計
- ・東富士演習場土地契約問題協議会に関する事務及び会計
- ・防衛省関係会計実地検査に関する事務

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
国庫支出金	1,900,000	2,000,000	2,000,000	0	105.3	100.0

収入済額は、防衛施設区域取得等事務地方公共団体委託費 2,000 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
渉 外 事 務 費	2,334,000	1,164,582	1,169,418	49.9

※人件費を除く

事業別の執行状況は、渉外推進事務費（予算現額 1,596 千円、支出済額 782 千円、支出率 49.0％）、車両管理費（予算現額 461 千円、支出済額 259 千円、支出率 56.2％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、渉外推進事務費の使用料及び賃借料-その他 427 千円である。

(3) 意見・要望事項

- ア 引き続き、国との調整、マスコミの対応、国際情勢から目を離さずに、住民の安全・安心を第一に適切な渉外事務の実施に努められたい。

産業スポーツ部

1 監査の対象

農政課、農林整備課、商工振興課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。また、指導事項についてはその該当課に記載した。

農政課

当課は、課長以下 12 人(うち相談員 1人、会計年度任用職員 2 人)で、農政スタッフ、農業振興スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・御殿場市農業委員会事業
- ・農業政策に関する事業（地域農政推進事業(担い手組織支援事業、農地集積・集約化推進事業、等)、グリーンツーリズム事業、たくみの郷指定管理施設運営事業、等)
- ・農業振興に関する事業（農業振興対策事業、地産地消・ブランド化推進事業、水田農業構造改革事業、農作物被害防止対策事業、等)
- ・畜産振興に関する事業（家畜防疫事業）

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	6,000	1,200	1,800	0	30.0	150.0
県 支 出 金	11,679,000	3,821,945	3,760,945	61,000	32.2	98.4
繰 入 金	26,159,000	21,159,000	21,159,000	0	80.9	100.0
諸 収 入	4,841,000	1,514,770	1,307,870	206,900	27.0	86.3

収入済額の主なものは、経営所得安定対策推進事業費補助金 2,795 千円、印野財産区特別会計繰入金(たくみの郷指定管理施設運営事業財産区繰入金、等) 7,610 千円、高根財産区特別会計繰入金(高

根地区農業振興事業財産区繰入金、等) 8,138 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 業 委 員 会 費	1,584,000	781,581	802,419	49.3
農 業 総 務 費	23,555,000	13,227,142	10,327,858	56.2
農 業 振 興 費	34,647,000	26,533,144	8,113,856	76.6
畜 産 振 興 費	1,688,000	1,380,204	307,796	81.8

※人件費を除く

事業別の執行状況は、たくみの郷指定管理施設運営事業(予算現額 10,000 千円、支出済額 7,000 千円、支出率 70.0%)、農業振興対策事業(予算現額 16,734 千円、支出済額 14,834 千円、支出率 88.6%)、水田農業構造改革事業(予算現額 10,237 千円、支出済額 5,876 千円、支出率 57.4%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、地域農政推進事業の負担金補助及び交付金-交付金 2,007 千円、たくみの郷指定管理施設運営事業の委託料 3,000 千円、農業振興対策事業の負担金補助及び交付金-補助金 1,900 千円、水田農業構造改革事業の負担金補助及び交付金-補助金 2,205 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、郵便受払簿に一部記入誤りがあったため適正な管理を指導した。

(4) 意見・要望事項

- ア グリーンツーリズムは、本来は都市と農村の交流を通じ、農業の活性化を推進する事業である。現在の活動も継承しつつ観光部局や民間企業と連携を図り、取り組まれない。
- イ 令和4年に予定されている農協の合併については、支店の統廃合等により、農家・各種団体に大きな影響が及ぶことが危惧される。事前に調整をし、負担がないようにお願いしたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

農林整備課

当課は、課長以下 10 人で、基盤整備スタッフ、森林スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・農業用排水路等の整備及び土地改良施設の維持管理に関する事業（市単独農業施設等整備事業、土地改良区交付事業、農業農村整備事業、等）
- ・東富士演習場関連公共用施設整備事業(防衛 9 条)
- ・ほ場整備事業に関する事務（県営ほ場整備事業:高根西部・一色地区、中清水地区）
- ・林業振興及び林道整備に関する事業(森林組合運営費補助金、鳥獣被害防止等対策事業交付金、等)
- ・地方創生道整備推進交付金事業(高内1号線舗装工事)
- ・東富士演習場内緑地帯設置委託事業（国庫委託事業）
- ・東富士演習場内治山治水対策事業（国庫委託事業）
- ・森林公園指定管理施設運営事業
- ・農地、農業用施設、林道等災害復旧事業

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
地 方 譲 与 税	16,814,000	8,407,000	8,407,000	0	50.0	100.0
使用料及び手数料	34,000	25,980	25,980	0	76.4	100.0
国 庫 支 出 金	169,986,000	17,496,000	17,346,000	150,000	10.2	99.1
県 支 出 金	317,744,000	4,457,803	4,457,803	0	1.4	100.0
寄 付 金	4,040,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	77,466,000	7,657,000	7,657,000	0	9.9	100.0
市 債	46,800,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、森林環境譲与税 8,407 千円、東富士演習場内治山治水対策等事業委託金(防災調節池等保全対策・法面整正) 17,346 千円、高根財産区特別会計繰入金(高根地区農業基盤整備事業研究会補助金に係る繰入金、等) 7,657 千円、林道施設災害復旧事業費補助金(令和元年台風19号の復旧事業)22,475 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
農 地 費	155,409,000	21,356,543	134,052,457	13.7
東富士周辺用水整備事業費	18,147,000	5,340,000	12,807,000	29.4
ほ 場 整 備 事 業 費	29,724,000	11,984,906	17,739,094	40.3
林 業 振 興 費	375,780,000	20,325,617	355,454,383	5.4
緑 地 帯 設 置 事 業 費	40,249,000	3,981,478	36,267,522	9.9
森 林 公 園 管 理 費	69,183,000	17,820,000	51,363,000	25.8
場内治山治水対策事業費	97,816,000	42,254,361	55,561,639	43.2
農業施設災害復旧費	38,000	0	38,000	-
林道等災害復旧費	27,000	0	27,000	-

※人件費を除く

事業別の執行状況は、市単独農業施設等整備事業（予算現額 66,140 千円、支出済額 5,144 千円、支出率 7.8%）、土地改良区交付事業（予算現額 58,107 千円、未執行）、農業農村整備事業（予算現額 11,003 千円、支出済額 4,055 千円、支出率 36.9%）、農業農村多面的機能支払交付金事業（予算現額 11,771 千円、支出済額 11,668 千円、支出率 99.1%）、東富士演習場関連公共用施設整備事業（防衛 9 条）（予算現額 18,147 千円、支出済額 5,340 千円、支出率 29.4%）、高根西部・一色地区県営ほ場整備事業（予算現額 11,230 千円、支出済額 2,610 千円、支出率 23.2%）、中清水地区県営ほ場整備事業（予算現額 11,050 千円、支出済額 2,800 千円、支出率 25.3%）、林業振興事業（予算現額 332,919 千円、支出済額 3,475 千円、支出率 1.0%）、地方創生道整備推進交付金事業（予算現額 35,139 千円、支出済額 13,150 千円、支出率 37.4%）、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業（予算現額 39,972 千円、支出済額 3,856 千円、支出率 9.6%）、森林公園指定管理施設運営事業（予算現額 23,760 千円、支出済額 17,820 千円、支出率 75.0%）、森林公園維持管理費（予算現額 45,423 千円、未執行）、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業（予算現額 97,320 千円、支出済額 42,012 千円、支出率 43.2%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、市単独農業施設等整備事業の需用費－修繕料 18,820 千円、委託料 35,815 千円、土地改良区交付事業の負担金補助及び交付金－交付金 58,107 千円、東富士演習場関連公共用施設整備事業（防衛9条）の工事請負費 12,460 千円、林業振興事業の負担金補助及び交付金－補助金 311,334 千円、負担金補助及び交付金－交付金 12,371 千円、地方創生道整備推進交付金事業の工事請負費 21,980 千円、（緑地帯設置事業費）国庫委託事業の委託料 35,741 千円、森林公園維持管理費の需用費－修繕料 24,770 千円、使用料及び賃借料－土地借上料 11,619 千円、（場内治山治水対策事業費）国庫委託事業の委託料 16,808 千円、工事請負費 36,785 千円である。

(3) 意見・要望事項

- ア 鳥獣被害防止対策事業については、捕獲等を実施しているものの、被害がなくなるのが現状である。引き続き、県・近隣市及び猟友会等と緊密に連携して対応されたい。
- イ 農業用排水路等の整備について、地元からの要望件数が多いために応えきれないことを課題としている。富士裾野東部土地改良区への施設移管や農業後継者の問題も関連することから優先順位等を十分に検討されたい。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。

商工振興課

当課は、課長以下 6 人(うち相談員 1 人)で、商工労政スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・労政に関する事業（合同企業ガイダンスの開催、勤労者住宅建設の支援(利子補給)、駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)の支援、駿東地域職業訓練センター指定管理事業、等)
- ・商工業振興に関する事業（商工振興事業(融資資金利子補給)、商店街活性化事業、経済活力創出事業、経済対策助成事業、地域産業立地促進事業、市営駅南駐車場指定管理事業、等)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	188,000	184,039	184,039	0	97.9	100.0
県 支 出 金	43,434,000	42,026,483	42,026,483	0	96.8	100.0
繰 入 金	1,180,000	0	0	0	-	-
諸 収 入	72,629,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、地域産業立地促進事業補助金 7,319 千円、新型コロナウイルス感染症拡大防止支援交付金 34,500 千円である。

イ 歳出予算執行状況（目別）

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
労 働 諸 費	84,566,000	74,323,149	10,242,851	87.9
商 工 総 務 費	10,193,000	8,012,896	2,180,104	78.6
商 工 振 興 費	789,799,000	720,447,578	69,351,422	91.2

※人件費を除く

事業別の執行状況は、勤労者福祉事業(予算現額 62,239 千円、支出済額 55,200 千円、支出率 88.7%)、職業訓練促進事業(予算現額 17,391 千円、支出済額 17,391 千円、支出率 100.0%)、商工振興事業(予算現額 654,400 千円、支出済額 604,065 千円、支出率 92.3%)、地域産業立地促進事業(予算現額 42,225 千円、支出済額 41,386 千円、支出率 98.0%)、雇用創出促進事業(予算現額 25,000 千円、支出済額 24,000 千円、支出率 96.0%)、設備投資促進事業(予算現額 53,503 千円、支出済額 37,899 千円、支出率 70.8%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、商工振興事業の負担金補助及び交付金－補助金 48,835 千円、設備投資促進事業の負担金補助及び交付金－補助金 15,604 千円である。

(3)意見・要望事項

- ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止の関係で、各種の支援事業等を実施した。大変な事務量だったと思うが、今後も職員の健康管理には留意されたい。
- イ 新型コロナウイルス感染症の影響により有効求人倍率が急落しているとのこと。各種促進事業等の活用も含め、雇用の確保に取り組まれない。
- ウ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。